

阪口 昌子(さかくち まさこ)先生のプロフィール

- 勤務先 (医)すずらん会 阪口医院
 - 経歴 大阪医科大学卒業
 - 専門 外科(専門医)、形成外科(専門医)、
リハビリテーション科、内科、消化器科一般
- 東洋医学会専門医、産業医でもある。



◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

受動的な出会いは、漢方が保険適用になった時から、自宅(医院)で使っていました。母親が薬剤師、父親が医師で興味があつたらしいです。

自発的には、昭和47年大学病院の肝臓外科でツムラ(9)小柴胡湯とツムラ(25)桂枝茯苓丸を良く使っていたのが、使用のはじまりです。

◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

内科、外科(整形外科も)
いろいろ(開業医としては)使っていて、気に入る効果があります。

◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

1:5 位。あまり気にしていません。

◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

今より使う人が増えて、制約がなくなって欲しいです。

◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なさったことがありますか

なかったら処方しません。風邪で漢方以外は30年位ほとんど飲んだことはありません。

◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

理屈から入らない方がよいと思います。実践を中心に！

◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

知ったかぶりはしない方がいいと思います。



注意:先生へのインタビューは、当会が2009年5月に行った内容です。